

選手権大会 競技規則

日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に従う。

競技方法	大会1日目、2日目共に トーナメント戦
ディフェンス	マンツーマンディフェンスの基準規則に則る。 目先の勝利に捉われない長期的な視野に立った指導を目指し、バスケットボールの攻守の基本である「マンツーマンの推進」を図ること。 全試合 マンツーマン コミッショナー を配置する。
試合時間	各クォーター6分 4クォーター制 ハーフタイム3分（次のゲームのチームは練習できない） 定刻を基本とし、遅れた場合は本部で時刻を設定し連絡する。
出場条件	今年度、県連盟に登録している選手で必ずチームを構成すること。 選手は日本バスケットボール協会へ必ず登録済のものとする。 登録選手であれば試合ごとに変更できる。 ユニフォーム・パンツは、同色・同型でチーム全員揃える。 競技者登録について提示を求められることがあるので、必ず登録証を携帯しておくこと。
ベンチ	試合日程の左記のチームがTO席に向かって右側、ユニフォームは、淡色とする。 大会エントリーは25名、ゲームエントリーはそのうち10～15名とする。 スタッフは、コーチ・アシスタントコーチ・マネージャー・その他の計4名。 ベンチ入りスタッフの中に必ずD級以上のコーチライセンスを取得しているものが入ること。 ライセンス取得スタッフは全員、試合中ライセンス証を首にさげておくこと。 ベンチスタッフにライセンス取得者がいない場合は、原則試合を認めない。 これに反すると、規則に定められた罰則が科せられる。
審判	全試合連盟よりの指名審判制とする。
TO	県下にTOチームを募り、TOを割り当てる。
棄権試合	選手が10名未満の場合は棄権試合となる。 試合は交歓試合として行う。 その場合、試合開始までに本部へ連絡し、審判・相手チームにもその旨を伝えること。
延長戦	4クォーター終了時同点の場合、2分間のインターバル後3分間の延長を1回行う。それでも勝敗がつかない場合は、先に2点取ったチームの勝利とする。時間は3分間で、どちらも2点に到達しない場合は必要回数3分間の延長を行う。この場合もすべて、2分間のインターバルをとる。
メンバー表	申込時に所定の用紙で提出すること。 大会当日にメンバー表に変更がある場合は1試合前までに大会本部へ知らせること。 第1試合については、開始30分前までとする。
スタッフ変更	大会当日スタッフの変更がある場合は、所定の用紙に記入の上、本部で承認をえること。 受付は、大会1日目・・・開会式終了後、第1試合の開始までの間。 大会2日目・・・第2ゲーム開始10分前（10：30）まで。 それ以外の変更は、認めない。
ボール	人工皮革ボールを使用する。 男子・ミカサ ◇ 女子・モルテン
その他	ベンチスタッフ、TO 指導者は別紙「試合進行をスムーズに行うために」を確認しておくこと。

スムーズな試合進行が出来るよう、皆様のご協力をお願いします！